

コード	502030101
記入日	H25.5.31

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	江口 旭

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	体験交流学習補助事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50203	基本事業名称	生涯学習による人づくり	目コード	1
事務事業コード	5020301	事務事業名称	ジュニアリーダーの育成事業費	細目コード	990
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町児童体験交流学習実施要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町内小学5~6年生	(対象2)	(対象指標1) 406人 (H24.4.1現在)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・熊本県南阿蘇村・和歌山県広川町・長野県北相木村との相互交流（キャンプ等）を行った。 →事業実施件数 3件 →開催日数 10日 →募集回数 1回	***** 事業実施件数	***** 3件	***** 100%	実施事業件数÷ 計画事業件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	計画どおり事業を実施した。			
		***** 補助金交付件数	***** 2件	***** 100%	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	計画どおり実施した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・異なった環境での体験、交流を通してジュニアリーダーとしての人材の育成を目指すことを目的としている。これにより子ども会の活動が活性化し、人的交流が進むことで地域の活性化が図られる。また、姉妹町村との相互交流を図ることで、郷土を愛する心を育むことができる。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 参加者数	***** 31人	***** 57.4%	参加者数÷ 募集参加者数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	達成率は60%にも満たなかったが、申込みのあった参加者は全て参加した。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	12	12	9	3	3				
	② 件	11	11	9	2	2				
成果指標	① 人	238	215	184	54	31				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	12,026	11,872	10,606	1,420	1,266				
直接事業費 A	千円	6,426	6,272	5,706	720	566				
人件費 B	千円	5,600	5,600	4,900	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.8	0.7	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	12,026	11,872	10,606	1,420	1,266				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	姉妹町村とのさらなる交流を図るためには、継続する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	姉妹町村等との交流は、十分に図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	毎年参加対象者が変わるので、効果の向上は図ることができる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	姉妹町村との交流は十分に図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	姉妹町村との交流を図るための手法は、既に確立されている。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	反映できている。
	今後、課題に向けた改善策	参加者の主体的な取組みを促すためのメニュー作りに取り組む。

2次評価	多くの子ども達が参加し交流できる環境を整備するとともに、交流を通してふれあうことで子ども達の育成・人づくりが図られるよう努めること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●			事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。